

# STANDOWIN iQ

①インストール、アンインストールマニュアル

②Colour Search Manual(ベーシックマニュアル)

③環境設定

④スペクトロの使用方法

⑤個人データの作成

⑥Hit on Hit(簡易調色機能)

⑦メンテナンス(価格/ユーザー管理)

# 目次

1. 環境設定.....	1
1.1. 「私のアカウント」について.....	1
1.2. 「ソフトウェア」について.....	1
1.3. 「塗料タイプ/製品リスト」について.....	2
1.4. 「カラーツール」について.....	2
1.5. 「検索」について.....	2
1.5.1. 表示タイプ(ディスプレイタイプ).....	3
1.5.2. 詳細検索を使用する.....	3
1.5.3. メーカー名.....	3
1.5.4. カーメーカーの登録.....	3
1.5.5. 地域・国別.....	4
1.6. 「Fx配合」について.....	4
1.7. 「塗料必要量の計算」について.....	5
1.8. 「ユーザー」について.....	5
1.9. 「作業ダイアログ」について.....	5
1.10. 「作業カード」について.....	6
1.11. 「ノンペイント」について.....	6
1.12. 「ハードウェア」について.....	6
1.12.1. スペクトロ設定.....	6
1.12.2. スケール設定.....	8
1.12.2-1. その他のスケール.....	8
1.12.2-2. スケールの接続テスト.....	8
1.12.2-3. スケールオプション.....	8
1.12.2-4. スケールの表示名.....	8
1.12.2-5. 許容誤差範囲での音.....	8
1.12.2-6. 製品名表示のスキップ.....	8
1.12.2-7. PC スケールバーの表示.....	9
1.13. 「検索オプション」について.....	9
1.13.1. アドバンスオプション詳細設定について.....	10
2. コミュニケーション <DVD/ダウンロードソフト(カラーコントロールセンターCCG)とウェブの同期>	12
2.1. 登録.....	12
2.2. ソフトウェアプロキシ設定.....	13
3. クラウドコネクターについて.....	13

## 1. 環境設定

環境設定では、お客様のご要望に合わせて設定できます。必要な時に変更します。

「☰」→「設定」→「各メニュー」にてお客様のご使用状況に合わせて STANDOWIN iQ の環境設定を変更できます。

STANDOX | STANDOWIN iQ

メニュー: 検索, 製品配合, 個人データ, ツール, ビックリスト

設定

- ①「言語選択」「アカウント情報」「DVD/ダウンロードソフトとウェブの接続登録(DVD/ダウンロードソフトのみ)」「アイデンティフィケーションコード情報(ウェブのみ)」「他のユーザーと同期(ウェブのみ)」「アクサルタからのニュース発信(i-NEWS)」他
- ②「プロキシサーバー環境設定(DVD/ダウンロードソフトのみ)」「アップデートスケジュール(DVD/ダウンロードソフト/同期しているユーザーのみ)」他
- ③「塗料タイプ」「製品リスト」の選択「VOC 対応製品のみ表示」
- ④「ヨーロッパカラーツール情報」
- ⑤「表示タイプ」「詳細検索」「メーカー名」「地域・国別」「検索地域・国の限定」「サービス配合の表示」他
- ⑥「単位」「小数点以下位」「配合エクスポート使用」「1 種類配合印刷」「複数配合印刷」「5種類重量配合印刷」「個別・積算重量表示」「モデル名表示」他
- ⑦「塗料必要量の計算設定」
- ⑧ユーザーオプション(パスワード等で管理される場合)
- ⑨「価格管理設定」
- ⑩「作業ダイアログ使用」「作業IDの自動作成」
- ⑪「作業カード使用」
- ⑫「在庫管理」
- ⑬「ノンペイント在庫管理」
- ⑭「スペクトロ」「スケール」「Use cloud connector(Wi-Fi でアクワイヤークアンタム EFX 接続の方)」設定
- ⑮「アドバンスオプション」「測色データ表示数」「スペクトロ比較機能」「45° 15° 110° スペクトロのグラフ表示」他

### 1.1. 「私のアカウント」について

配合印刷時に表示されるお客様の会社名を入力することができます。

私のアカウント

言語選択: 日本語

アカウント情報  
 ユーザー名: Local User  
 国名: JAPAN  
 会社名: Local Installation  
 Id  
 Sales force Id (18)  
 Sold to code  
 インストールファイル: Standard

アクサルタからのニュース受信  
 →DVD/ダウンロードソフト(GCC)とウェブを同期させますとアクサルタからのニュースを受信できます(i-News)

パスワード入力

印刷時の会社名と住所  
 →配合印刷時に表示されるお客様の会社名を入力することができます

会社名:  住所:

郵便番号:  City:

個人データのカテゴリ  
 インポート  
 クイックリポート  
 クイックリポートのインポート

切替ボタン  
 ON(緑) OFF(グレー)

### 1.2. 「ソフトウェア」について

プロキシサーバー環境設定やデフォルトレポートアクションについて設定できます。(DVD/ダウンロードソフト)インターネットにDVD/ダウンロードソフト(GCC)を接続できない場合は、プロキシサーバーのアドレスなどの登録が必要な場合があります。(お客様の会社のパソコンの管理者様へご確認いただき必要事項の登録をお願いします)

ソフトウェア

環境設定  
 →プロキシサーバー環境設定ができます

設定

デフォルトレポートアクション  
 By resetting the report action you will again be prompted whether you want to open or save the report file when generating a report.  
 Reset report action

### 1.3. 「塗料タイプ/製品リスト」について

配合検索や、製品プロダクトミックスで表示される塗料/製品を選択できます。



**塗料タイプ**  
ご使用の塗料タイプ\*を選択できます。

↓ ↑ 並び替え 詳細 VOC

詳細	VOC	
STANDOBLUE	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
STANDOCRYL VOC TOPCOAT	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
STANDOFLEET HS	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
STANDOFLEET HS-HB (DICKSCHICHT)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
STANDOFLEET MS	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

**製品リスト**  
使用している製品をON、使用していない製品をOFFにすることもできます。

コード\*  🔍 →コードにて検索できます

並び替え 詳細 VOC

コード*	詳細	VOC	
1K Bodyfine	STANDOX 1K BODYFINE	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2K 10-20	STANDOX THINNER 2K 10-20	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2K 15-25	STANDOX THINNER 2K 15-25	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2K 20-25	STANDOX THINNER 2K 20-25	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

VOC対応製品のみ表示 →ONにした場合、溶剤の配合は見られなくなります

\*ONにした場合、対応製品以外のものは表示されません。

### 1.4. 「カラーツール」について

ヨーロッパのカラーツールが表示されます。※初期設定では「OFF」が選択されています。

**カラーツール**

こちらはヨーロッパのカラーツールです。

Bar code  🔍

↓ ↑ 並び替え 詳細

名前	Bar code	
Standoblu Colorbox Reprint Update	B768543	<input type="checkbox"/>
Standox Colorbox OEM Re-Print	beginning with BMW	<input type="checkbox"/>
Standoblu Colorbox	A19790	<input type="checkbox"/>
Standox Add-on parts	no barcode available	<input type="checkbox"/>
Standoblu Colorbox Reprint 2015	A848344	<input type="checkbox"/>

### 1.5. 「検索」について

配合検索をお客様のお好みのスクリーンへ設定できます。

**検索**

表示タイプ\*  
\*チップ\* (は大きいカラーチップ)、\*リスト\* (はリストに小さいチップ) 表示  
 リスト  チップ\* →チップの表示方法を選択する場合(リスト/チップ)

詳細検索を使用する  
\*通常検索\*を選択するとより詳細検索項目を入れることができます。 →常にON にしておくことをお勧めします

メーカー名  
こちらにメーカー名を入力すると、カラー検索時に、入力したメーカーが自動で毎回表示されるようになります。(1メーカーのみ)

カーメーカーの登録  
登録したカーメーカーが検索リストの上部に表示されます。 →配合検索時の「カーメーカー/検索リスト」にトップ表示され使用頻度の多いものがみつけやすい(複数設定可能)

地域・国別  
検索時に最初に表示される国を指定できます。 →配合検索時の地域・国を選択する場合(優先表示)

検索地域・国の限定 (複数可)  
検索する地域・国を限定します。 →検索する地域・国を選択する場合  
 全表示  
 全表示

サービス配合の表示  
サービス配合を表示します。 →通常はON。OFFにすると見えない配合あります

### 1.5.1. 表示タイプ(ディスプレイタイプ)

検索結果表示画面での表示タイプを設定できます。

【チップ】を選択したときの表示画面



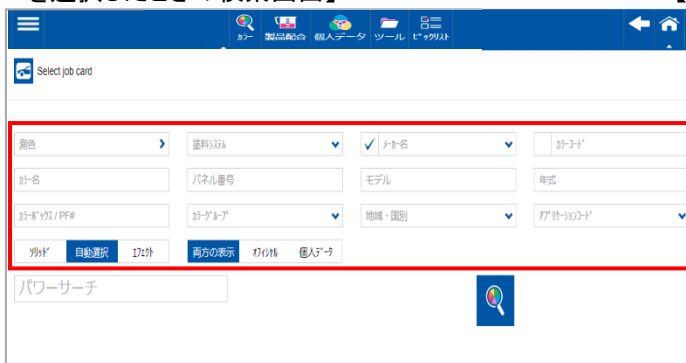
【リスト】を選択したときの表示画面



### 1.5.2. 詳細検索を使用する

検索画面の表示を設定できます。※常に ON にしておくことをお勧めします。

【ONを選択したときの検索画面】



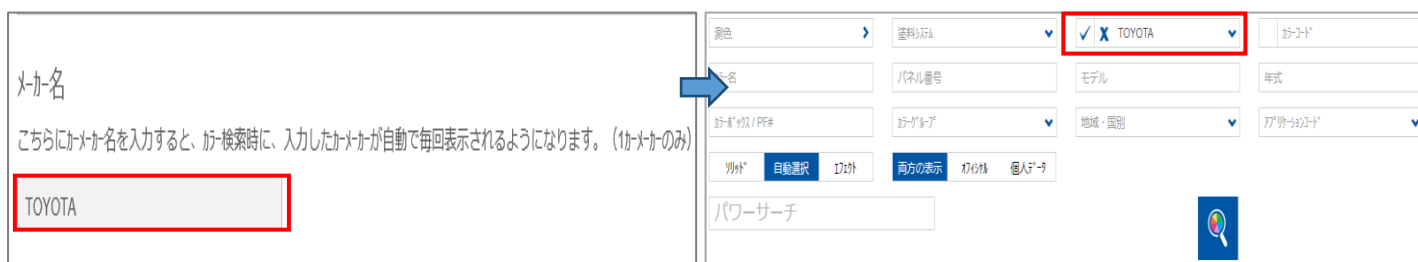
【OFFを選択したときの検索画面】



### 1.5.3. メーカー名

メーカー名を入れておくと、検索画面を開いた時に、そのメーカー名が入力された状態で表示されます。

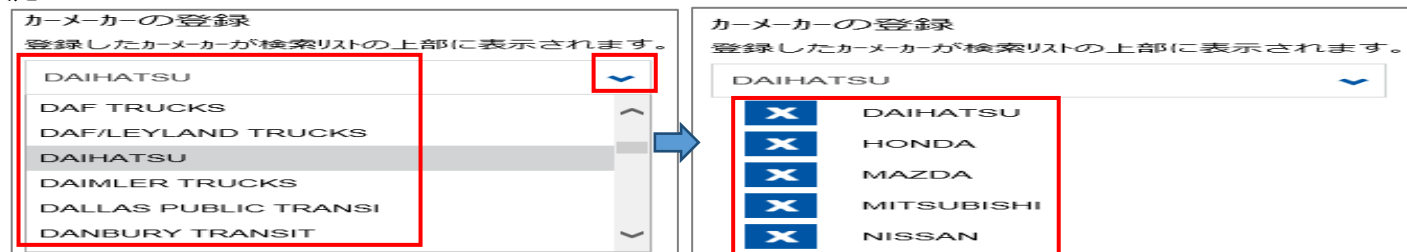
【例: メーカー名「TOYOTA」と入力しておくとお次回カラー検索画面を開いた時に、メーカー名「TOYOTA」と入力された状態になる。】




### 1.5.4. カーメーカーの登録


登録したカーメーカーは、カラー検索画面の「メーカー名」リストの一番上に配置されます。(複数設定可能です)

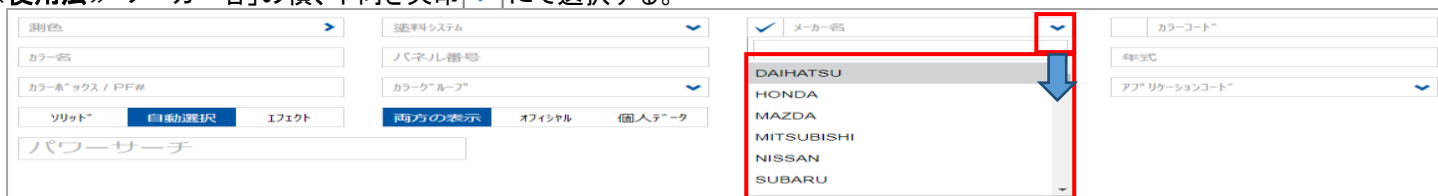
《設定》



下向き矢印  から設定したいカーメーカーを選択する。

選択した順番に上から表示される。  
必要ないものは、左端の「X」にて削除できる。

《使用法》「メーカー名」の横、下向き矢印にて選択する。



### 1.5.5. 地域・国別

ここで選択した地域・国のデータが、優先的に表示されます。

※「全表示」を選択すると登録されているすべての国のデータを見ることができます。

※初期設定では「JAPAN」が選択されています。



パネル番号	Variant	リアモデル	Local serial number	地域・国別	日付
0991713	GE	SIENTA - 2015		JAPAN	2018/05/31
0905925	GE.H	SIENTA - 2015		JAPAN	2016/10/20
0991919	R.D	SIENTA - 2015		JAPAN	2016/06/21
0956542	SIGE	SIENTA - 2016		JAPAN	2018/07/06

パネル番号	Variant	リアモデル	Local serial number	地域・国別	日付
0965700				EUROPE	2014/12/24
0955336		COASTER - 2017		CHINA	2018/06/21
0991713	GE	SIENTA - 2015		JAPAN	2018/05/31
0905925	GE.H	SIENTA - 2015		JAPAN	2016/10/20
0991919	R.D	SIENTA - 2015		JAPAN	2016/06/21
0956542	SIGE	SIENTA - 2016		JAPAN	2018/07/06

切替ボタン

ON(緑) OFF(グレー)

### 1.6. 「Fx配合」について

fx 配合	一部抜粋
<p><b>単位</b> 配合に表示される単位を選択できます。</p> <p>L</p>	→配合に表示される重量の単位を選択する場合 (L/Kg/ガロン/クオート)
<p><b>小数点以下の位の選択</b> 小数点以下の位を選択できます。</p> <p>#.0</p>	→重量の小数点以下の表示値を選択する場合
<p><b>配合エクスポート使用</b> 配合をエクスポートする場合はONにします。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>	→配合をエクスポート(外部保存)する場合
<p><b>配合(1種類)印刷使用</b> 配合(1種類)の印刷が可能になります。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>	→1種類の配合を印刷する場合
<p><b>複数の配合印刷をする</b> 配合を印刷するとき、一つのカラーコードで複数の配合を選択し、印刷できます。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>	→1つのカラーコードで複数のデータを印刷する場合
<p><b>0.25L,0.5L,0.75L,1L,2Lを印刷</b> 0.25L, 0.5L, 0.75L, 1L, 2Lの重量の配合印刷が可能になります。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>	→5種類の重量(0.25L/0.5L/0.75L/1L/2L)印刷する場合
<p><b>配合の各原色の重さ表示</b> 'gram(積算)'表示か、'gram(個別重量)'表示かの選択</p> <p><input checked="" type="radio"/> 個別重量(g) <input type="radio"/> 積算重量(g)</p>	→5種類の重量印刷する場合 重量の表示方法を選択する(個別重量or積算重量)
<p><b>塗料必要量の計算をする</b> 毎回自動的に塗料必要量の計算のページが開くようになります。</p> <p><input type="checkbox"/></p>	→配合検索画面にて毎回自動表示を希望される場合
<p><b>塗料必要量の入力のリロック (ユーザーの設定の場合)</b> ユーザーマネジメントの設定をしている場合は、ユーザーのカテゴリに設定している方は塗料必要量の量の変更ができません。</p> <p><input type="checkbox"/></p>	
<p><b>配合ページのクイック選択表示</b> クイック選択のオプション、製品配合の選択(レイフォーユース)を使用できるようにする。自動的に選択したものが選ばれるようになります。</p> <p><input type="checkbox"/></p>	→クイック選択オプション。製品配合の選択を希望される場合
<p><b>重量%の表示</b> 配合の中のそれぞれの原色の重量%が表示されます。</p> <p><input type="checkbox"/></p>	→配合%を表示する場合
<p><b>モデル名の表示</b> 配合選択のリストにモデル名(登録がある場合)を表示します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>	→配合リストにモデル名を表示する場合(登録がある場合のみ)
<p><b>ローカルリアル番号の表示</b> ローカルリアル番号の表示</p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>	
<p><b>配合色変化表示オプション</b> パレットが表示されます。色味は実際にスプレーをしてご確認ください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/></p>	
<p><b>フィルターカラーリンク</b> この設定でフィルターの表示方法を選択することができます。</p> <p>製品配合</p>	

## 1.7. 「塗料必要量の計算」について

オリジナル(個人データ)塗料必要量を保存することができます。(データベース作成画面)

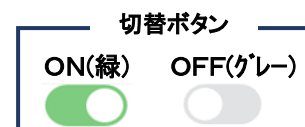
The screenshot displays the 'Paint Calculation' interface. On the left, a list of paint types (A) is shown with a coefficient of 1 for each. In the center, a car diagram (C) highlights a specific part. To the right, a table (D, E, F, G) lists coefficients for different parts. On the far right, the 'More Options' table (B) shows a list of car parts with their respective volumes and a '+ (Add)' icon.

- 「メーカー名」にて管理する場合、「+(追加)」アイコンをクリックし「メーカー名」「モデル」「年式」を入力し右下「MoreOptions」をクリックすると「CarParts」も追加登録できます。フロッピーアイコンにて保存。(メーカー名登録完了)  
「+(追加)」のアイコンで複数追加登録できます。

- ①A: 必要量に合わせて係数の設定
  - ②B: 「車のサイズ」(小型車・中型車・大型車) or 「メーカー名」を選択  
「MoreOptions(CustomCarParts)」登録可能(「メーカー名」登録時に追加可能)
  - ③C: 車の補修部位をクリックすると対応する係数入力部分の色が変わりますので、その部分に入力します。
  - ④E: フロッピーアイコンにてデータを保存する(オリジナル個人データ登録完了)
- 使用方法・カラー検索→配合画面→「塗料必要量の計算」→「個人データ」にて選択すると必要量算出できます。

## 1.8. 「ユーザー」について

ONにした場合、ユーザー管理ができます。



The screenshot shows the 'ユーザー' (User) management settings page. It includes a 'ユーザー管理' (User Management) section with a toggle switch, a '管理モード' (Management Mode) dropdown menu, and three sections with toggle switches: 'スケール使用でのユーザーの識別' (User Identification with Scale Use), '個人データとユーザーのリンク' (Link between Personal Data and User), and '作業ダイアログ' (Job Dialog).

## 1.9. 「作業ダイアログ」について

作業ダイアログオプションは、お客様が参照番号を記録したい場合に設定します。※初期設定では「OFF」が選択されています。

The screenshot shows the '作業ダイアログ' (Job Dialog) settings page. It includes a '作業ダイアログ使用' (Job Dialog Use) section with a toggle switch, a 'レポート使用' (Report Use) section with a toggle switch, and a '作業参照の使用' (Use of Job Reference) section with a toggle switch. Below these are sections for '作業参照リスト使用' (Use of Job Reference List), 'ワーク参照リストを使用する' (Use Work Reference List), and '作業IDの自動作成' (Automatic Creation of Job ID). At the bottom, there is a '作業の編集' (Edit Job) button and a note about editing the registered job list.

## 1.10. 「作業カード」について

作業カードは、ジョブカードを利用し、お客様の作業を管理できます。※初期設定では「OFF」が選択されています。

### 作業カード

**作業カード使用**  
この設定で、ジョブカードにアクセスでき、ジョブは選択したジョブカードとリンクします。

---

**スタートページ**  
立ち上がりの画面で検索かメニューが選択できます。  
 検索    メニュー

---

**作業カード参照番号を自由に入力**  
作業カードとともに作業参照番号を入力可能です。

---

**ノンペイントコストの自動計算**  
作業カードの完了時に作業カードのノンペイントコストを自動でアップデートします。ノンペイントコストパーセントは作業カードの合計のペイントコストから計算します。

---

**手動の作業カード作成を許可しない**  
外部のBMSシステムを通して作成される作業カードのみ可能

---

**作業カードタグ作成を許可しない**  
ここをONにした場合、作業カードを自身でお作りできません。タグは外部のBMSシステムを通してのみ作成可能です。

---

**xx 日後に自動的に作業カードを閉じる**  
作業カードは、作成された日から設定された日数を経過すると自動的に閉じられます。(最小1日,最大120日) 作業カードは次回のログイン時、またはCCCを再度開いたときに閉じられます。

---

**塗料使用量に基づく作業カードのバチル数のアップデート**  
塗料使用量で選択された作業カードに基づくバチル数のアップデート

## 1.11. 「ノンペイント」について

ノンペイントの在庫管理をすることができます。使用の際は、ベースとなる情報を登録します。

### ノンペイント

**ノンペイント在庫管理**  
この設定を使用できるようにすると塗料外製品の消費量や在庫の履歴がわかります。

---

**ノンペイント製品メンテナンス**  
このリストは現在登録がある塗料以外の製品一覧です。追加、編集、削除する場合は右のボタンをクリックしてください。

コード	↑ 詳細	メーカー名	単価	UoM	+

---

**Non-paint package maintenance**  
This list gives an overview of currently defined non-paint packages. Packages are different non-paint products grouped together. Use the buttons to add, edit or delete the packages.

↑ 名前	+

## 1.12. 「ハードウェア」について

### 1.12.1. スペクトロ設定

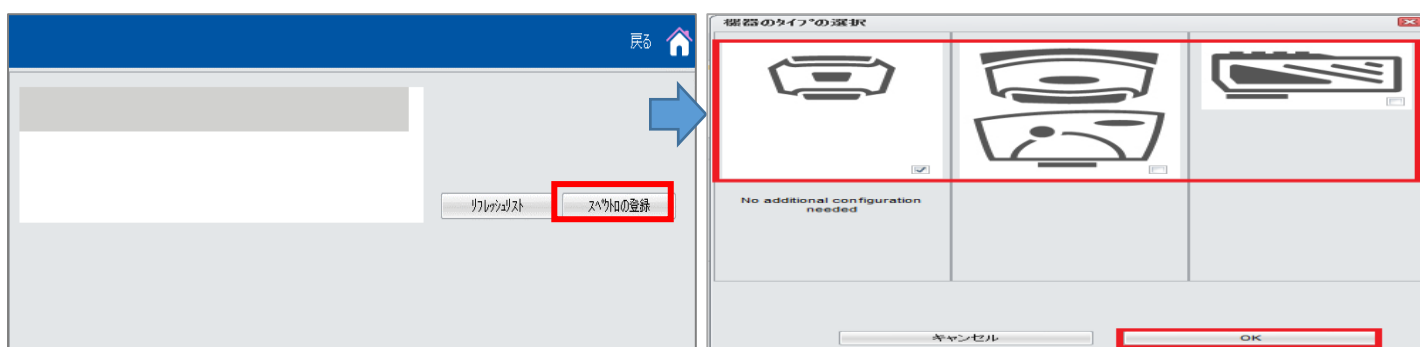
「☰」→「設定」→「ハードウェア」→「スペクトロ」にてスペクトロの設定ができます。

(USBケーブルでの接続は、アクワイヤークアンタムEFXも同様の設定となります。)

スペクトロの環境設定のスクリーンでは、まずスペクトロがPCに接続されていること、必要なUSBドライバーがインストールされていることをご確認ください。

「スペクトロの登録」ボタンをクリックしてください。COMポートの検索をします。

出てきた画面でどれか1つに☑をして「OK」をクリックします。



右上のマークが → へ変われば接続完了です。



接続した後、右下にメッセージが表示されます。「通常使用の測色機」か「今回のみの使用(仮使用)測色機」が設定をします。

測色機シリアル番号 12345678 が接続されました。  
通常使用の測色機としてソフトに登録しますか  
(所有の測色機ですか?)

はい  
いいえ 今回のみの使用です

→「はい」(通常使用/所有測色機)  
スペクトロ本体に保存しております全測色データを読み込みします。

→「いいえ 今回のみの使用です」(仮使用/一時的使用の測色機)  
スペクトロ本体に保存しております使用する測色データのみを読み込みします。

【「いいえ 今回のみの使用です」(仮使用/一時的使用の測色機)を選択した場合】

測色機シリアル番号 12345678 が接続されました。  
通常使用の測色機としてソフトに登録しますか  
(所有の測色機ですか?)

はい  
① いいえ 今回のみの使用です

シリアル番号 12345678 は仮使用として登録されました。取り出したい測色データを選択してください。

② 使用する測色データの選択  
今はしません

#	Date - Time	名前	メーカー名	コード	選択
5110	2022/12/05 4:00:20	Sample #5110			<input checked="" type="checkbox"/>
5109	2022/12/05 4:00:10	Sample #5109			<input checked="" type="checkbox"/>
5108	2022/12/05 4:00:00	Sample #5108			<input checked="" type="checkbox"/>
5107	2022/12/05 4:00:00	Sample #5107			<input checked="" type="checkbox"/>
5106	2022/12/05 4:00:00	Sample #5106			<input type="checkbox"/>
5105	2022/12/05 4:00:00	Sample #5105			<input type="checkbox"/>
5104	2022/12/05 4:00:00	Sample #5104			<input type="checkbox"/>
5103	2022/12/05 4:00:00	Sample #5103			<input type="checkbox"/>
5102	2022/12/05 4:00:00	Sample #5102			<input type="checkbox"/>
5101	2022/12/05 4:00:00	Sample #5101			<input type="checkbox"/>
5100	2022/12/05 4:00:00	Sample #5100			<input type="checkbox"/>
5099	2022/12/05 4:00:00	Sample #5099			<input type="checkbox"/>

キャンセル OK

- ①「いいえ 今回のみの使用です」をクリック
  - ②「使用する測色データの選択」をクリック
  - ③「測色データ選択」リストより使用する測色データに☑をして「✓OK」をクリック
- \* 接続の都度、「測色データ選択」リストより使用する測色データの選択が必要です。

画面右上の をクリックしてホーム画面に戻ります。

\* 設定後、再度変更は可能です。変更したい方のボタンをクリックし再度「スペクトルの登録」にて接続します。

アクワイヤークアンタムEFX以外

削除 データを送る  
リフレッシュリスト スペクトルの登録

所有の測色機  
 一時的使用の測色機

環境設定  
機器情報  
フレームバージョン  
作業名の登録  
測色アラウザー  
名前前の登録  
バッテリーテスト  
最終キャリブレーションからの日次

オプション  
 測色アラウザー  
 スペクトロ音  
スペクトロデータを削除  
作業リスト

エクストラオプション  
 スペクトロ本体画面のL値表示(ソフトウェア用)  
Green tie checking  
スペクトロの表示言語選択

アクワイヤークアンタムEFX

削除 データを送る  
リフレッシュリスト スペクトルの登録

所有の測色機  
 一時的使用の測色機

環境設定  
機器情報  
シリアル  
加付番号  
フレームバージョン  
測色データのカウンタ  
Total measurement count  
#測色 < 15°C

オプション  
 ジョブリストの許可  
 測色アラウザー  
 スペクトロ音  
スペクトロデータを削除  
作業リスト

エクストラオプション  
スペクトロに表示の詳細入力  
スペクトロの表示言語選択  
 ディスプレーの自動回転  
 QC mode  
 ヒンチェックスキップをお勧めしません

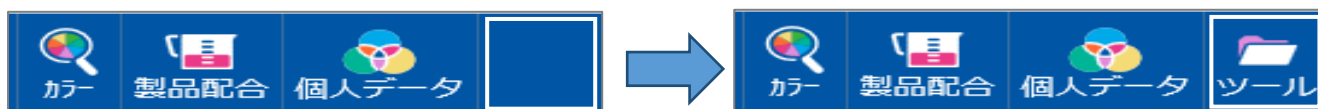
WiFi設定

このスクリーンでは、

- ・所有の測色機か一時的使用の測色機が設定できます
- ・接続しているスペクトロのシリアル番号が表示されます
- ・スペクトロ内の測色データを削除できます(全データの削除になりますのでご注意ください)
- ・測色データのブラウザが使用できます
- ・スペクトロ音のON/OFFの設定ができます
- ・スペクトロ本体画面のL値表示
- ・Wifi設定ができます

インストールした最初の画面には「ツール」の項目がありませんが、一度スペクトロに接続すると「ツール」の項目が現れます。  
【最初の設定】

【スペクトロを接続した後は「ツール」が追加されます。】



※スペクトロにデータが入っていない場合は「ツール」の項目は追加されません。  
スペクトロ設定の詳細については「スペクトロの使用方法」マニュアルをご参照ください。

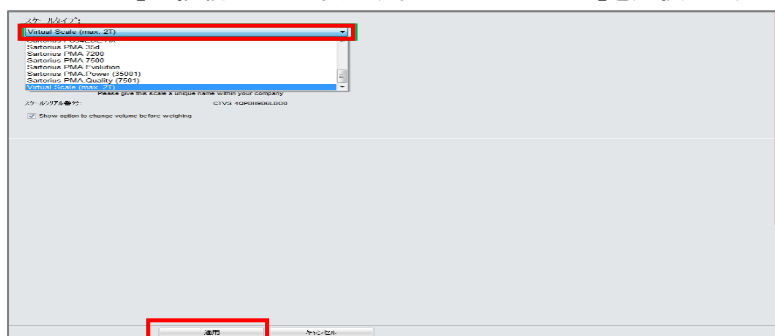
## 1.12.2.スケール設定

「☰」→「設定」→「ハードウェア」→「スケール」にてスケールの設定ができます。

「Virtual Scale」を選択すると、値は変わりますが、実際に計量しているわけではありません。

「Virtual Scale」は通常のスケールと同様に操作します。ジョブも登録されます。

「Virtual Scale」は接続テスト不要です。→「Virtual Scale」を選択して、「適用」を選択するだけで使用できます。



\* ヒットオンヒットの時は、「Virtual Scale」ではなく、**実際のスケール**を使用されることをお勧め致します。

### 1.12.2-1. その他のスケール

表示のあるスケールは、基本的にはこのソフトに対応しています。

(ただし、状態・PCの機種等によっては、つながらないケースもありますのでご了承ください。)



### 1.12.2-2. スケールの接続テスト

PCにスケールを接続し、スケールの「スケールタイプ」とCOM「ポート」を選択し「接続テスト」をクリックします。

接続できない場合は、ケーブルと接続を確認し、もう一度試してください。

もし接続できない場合は、接続プラグを一度抜いて、再度差し込みし、もう一度試してください。

接続できましたら、「Information」の「OK」と「適用」をクリックしてください。

NOTE:

- ギャルトリウススケール
  - 接続テスト
  - スケールのスイッチオン

### 1.12.2-3. スケールオプション

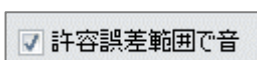
次のオプションが可能です。(実際のスケールを接続した場合)

#### 1.12.2-4. スケールの表示名

スケールに名前を設定することもできます。ペイントルームに複数のスケールがある場合に便利です。

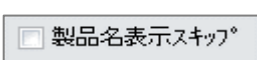
「作業リスト」も保存する時にスケール名を表示できます。

#### 1.12.2-5. 許容誤差範囲での音



チェックを入れると、計量で許容誤差範囲になったときに PC より警笛がなります。

#### 1.12.2-6. 製品名表示のスキップ



チェックを入れると、スケールの表示では重量のみが表示され製品名は表示されません。

チェックを外すと、製品名、重量が表示されます。

### 1.12.2-7. PC スケールバーの表示

範囲を超える場合のバー表示

チェックを入れると、計量の残り重量が設定した値になったときに PC スケールバーの表示が変わります。

バー表示の範囲  g

PC スケールバーの表示が切り替わる際の重量は、最小 20g、最大 100gまで設定できます。

### 1.13. 「検索オプション」について

スペクトロの検索オプションや配合のプレファレンスなどを設定することができます。



**検索オプション**

**エフェクトナビゲーターを使用** → 測色データ検索時【エフェクトナビゲーター】にて設定できます

次の機器 (シリアル番号) がこのオプションに適用しています。: Spectro\_1175950, Spectro\_1099100, Spectro\_1070054

**アドバンス オプション** → スペクトロをお使いのお客様は、スペクトロ読み込みデータからの検索結果の表示を設定できます

スペクトロの1対複数を表示 → スペクトロの1対複数の比較ができます

スペクトロの45°15°110°それぞれでのグラフ表示 → グラフが3角度に別々で表示できます

「エフェクトナビゲーターを使用」を「ON」設定するとスペクトロを接続し検索した時にエフェクトナビゲーターの数値が表示されます。

(アクワイヤークアンタムEFXで測色したデータは表示されません)

※エフェクトナビゲーターのカラーツールで目の粗さをご確認ください。

カラー検索画面からの検索開始時にもエフェクトナビゲーターの数値を選択することができます。

**検索オプション**

**エフェクトナビゲーターを使用**

次の機器 (シリアル番号) がこのオプションに適用しています。: Spectro\_



【エフェクトナビゲーター/Effect navigator】

●E・・・エフェクトナビゲーター(粗さ)のこと  
(E1 細かい→E5 粗い)

●L・・・ライトネス (明るさ)のこと  
(L1 明るい→L5 暗い)

\* スペクトロにて読み込んだデータ(測色)は、明るさ(L)のみ自動表示される(粗さは読めない)  
→手動で「粗さ」を設定する(不明時は、「--」を選択)

\* エフェクトナビゲーターを表示させるためには、測色データからメタリック系の色を選択する

\* 読み込んだカラーコードが表示されないこともある(もっと合致したものとソフトが判断した時)

**【エフェクトナビゲーター】設定**

BG57P     STANDOX BASISLACK    **L1** — E1 E2 E3 E4 E5     メーカー名

加コード    加名    パネル番号    モデル

年式    カラーボックス / PF#    カラーグループ    地域・国別

アプリケーションコード     ケロ     マット     リット     自動選択     エフェクト     両方の表示     オプション     個人データ

パワーサーチ

**【エフェクトナビゲーター】結果**

結果	Mi	Colour value	塗料システム	エフェクトナビゲーター
90.5 %	0.54		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
90.4 %	0.59		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
90.3 %	1.32		STANDOX BASISLACK	L5 / E4
89.9 %	0.75		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
89.3 %	1.29		STANDOX BASISLACK	L5 / E3

MX	詳細	個別重量(g)	修正済みの個別配合	Shading difference
PE803	BLAU	215.2	135.0	
MB559	BLAU	212.6	319.6	+
MB571	TIEFSCHWARZ	161.3	153.3	+
MB511	SILBERDOLLAR GROS	133.3	164.8	+
MB588	AZURBLAU	124.8	78.4	
MB512	SILBERDOLLAR FEIN	51.7	64.0	+
MB562	BRILLANTBLAU	46.0	30.1	

## 1.13.1.アドバンスオプション詳細設定について

検索オプション		切替ボタン
エフェクトレベーターを使用 次の機器（シリアル番号）がこのオプションに適用しています。：Spectro_1175050		ON(緑) OFF(グレー)
アドバンス オプション スペクトロオプションダイアログの表示	→「advanced」と入力し「スペクトロオプションダイアログの表示」をクリックすると設定項目が表示されます	<input checked="" type="checkbox"/>
アドバンスビュー VciやMIなどの情報を表示します。	→追加情報が表示されます 「vci」「データ詳細の結果」「カーブ」「角度(参考)」	<input checked="" type="checkbox"/>
結果がよくない配合もスケール接続可能にする（お勧めしません） 推奨しない結果がよくない配合をスケールと接続できるようにする。確認ボックスが表示されます。	→結果がよくない配合もスケール接続可能にできます (OFF設定推奨)	<input type="checkbox"/>
メタリズムインデックスの表示 メタリズムインデックスをスペクトロ結果のスクリーンに表示する。	→「データ詳細の結果」項目に【MI】が表示されます	<input checked="" type="checkbox"/>
ヒットオンヒット使用 ヒットオンヒットの機能を使用できるようにする。ここを一度でもONにするとこのヒットオンヒットのバージョンには二度と戻せないためご注意ください。	→詳細は、ヒットオンヒットのマニュアルへ	<input checked="" type="checkbox"/>
グラフの表示 スペクトログラフや角度を表示します。	→【カーブ】【角度】項目ができます	<input checked="" type="checkbox"/>
variantsの表示 Alt/Variantの表示をする。	→「データ詳細の結果」項目に【Variant】が表示されます	<input checked="" type="checkbox"/>
ハイライトシェーディングディファレンス 追加情報の表示	→「配合」項目に【Shading difference】が表示されます (「アドバンスビュー」を「OFF」設定時)	<input checked="" type="checkbox"/>
カラー情報をトップに表示 カラー情報のグラフを優先して表示	→検索結果表示画面で【カラー情報】がトップに表示されます	<input checked="" type="checkbox"/>
修正前の配合選択許可 配合スクリーンでオリジナル配合が修正済み配合が選択できるようにする。	→配合修正前か修正後か選択できます	<input checked="" type="checkbox"/>
マックスヘスト値 スペクトロの検索結果で表示する配合の数（10が最大値）	→スペクトロの検索結果を上位何個まで表示させるか設定できます	<input type="text" value="5"/>

設定後に検索すると下記のように検索結果が表示されます。

- ① 【結果】 値:オリジナル配合と修正後配合の Vci 値平均(大きい値ほど色があっている)
- ② 【Vci】 値:オリジナルデータの Vci(大きい値ほど色があっている)
- ③ 【修正後 Vci】値:修正後の Vci(大きい値ほど色があっている)
- ④ 【Mi】 値:メタリズムインデックス 光源による色差(小さい値ほど色差が小さい)

STANDOX BASISLACK						
① 結果	② Vci	③ 修正後Vci	④ MI	Colour value	塗料システム	エフェクトレベーター
90.5 %	85.4 %	95.7 %	0.84		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
90.4 %	85.5 %	94.4 %	0.69		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
90.3 %	89.9 %	92.6 %	1.32		STANDOX BASISLACK	L5 / E4
89.9 %	87.4 %	91.1 %	0.76		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
89.3 %	87.8 %	91.3 %	1.29		STANDOX BASISLACK	L5 / E3

## 【アドバンスビュー ON】

- ・追加情報が表示されます。
- ・「Vci」「データ詳細の結果」「カーブ」「角度(参考)」が表示されます。

STANDOX BASISLACK						
結果	Vci	修正後Vci	MI	Colour value	塗料システム	エフェクトレベーター
90.5 %	85.4 %	95.7 %	0.84		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
90.4 %	85.5 %	94.4 %	0.69		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
90.3 %	89.9 %	92.6 %	1.32		STANDOX BASISLACK	L5 / E4
89.9 %	87.4 %	91.1 %	0.76		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
89.3 %	87.8 %	91.3 %	1.29		STANDOX BASISLACK	L5 / E3

色味(参考) カラー情報 配合の中心 (3) 配合 **データ詳細の結果** カーブ 角度(参考) fx

配合タイプ		Off/Use
カーブ		<input checked="" type="checkbox"/>
角度		<input checked="" type="checkbox"/>

## 【メタリズムインデックスの表示 ON】

- ・「データ詳細の結果」項目に「MI」が表示されます。

STANDOX BASISLACK						
結果	Vci	修正後Vci	MI	Colour value	塗料システム	エフェクトレベーター
90.5 %	85.4 %	95.7 %	0.84		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
90.4 %	85.5 %	94.4 %	0.69		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
90.3 %	89.9 %	92.6 %	1.32		STANDOX BASISLACK	L5 / E4
89.9 %	87.4 %	91.1 %	0.76		STANDOX BASISLACK	L5 / E3
89.3 %	87.8 %	91.3 %	1.29		STANDOX BASISLACK	L5 / E3

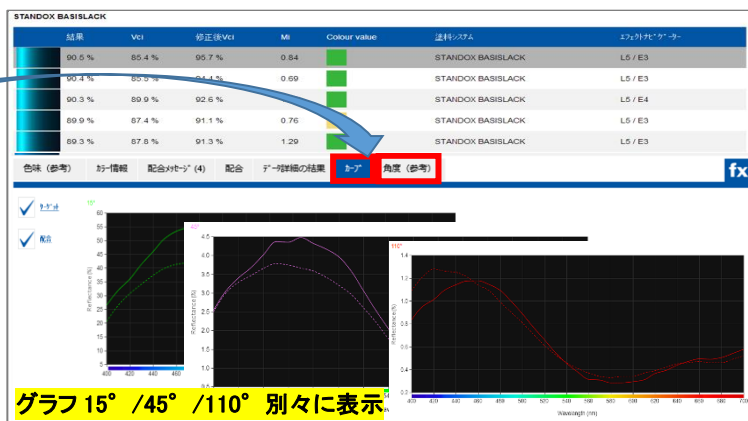
色味(参考) カラー情報 配合の中心 (3) 配合 **データ詳細の結果** カーブ 角度(参考) fx

配合タイプ		Off/Use
カーブ		<input checked="" type="checkbox"/>
角度		<input checked="" type="checkbox"/>

MI		0.84
メーカー名	HONDA	
コード	8057P	
カラー名	HORIZON TURQUOISE	
修正前Vci	85.4 %	
修正後Vci	95.7 %	
パネル番号	844735	

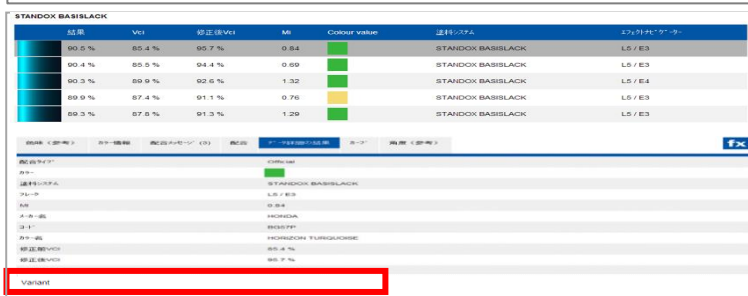
【グラフの表示 ON】

- 「カーブ」「角度(参考)」項目が表示されます。



【Variant の表示 ON】

- 「データ詳細の結果」に「Variant」が表示されます。

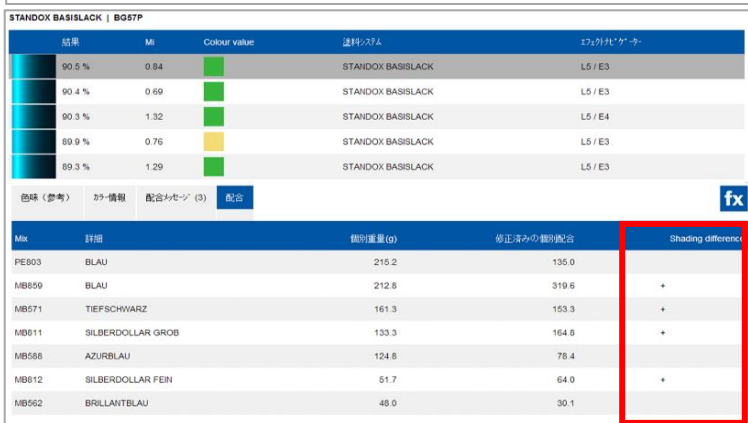


【ハイライトシェーディングディファレンス ON】

- 「配合」項目に「Shading difference」が表示されます。

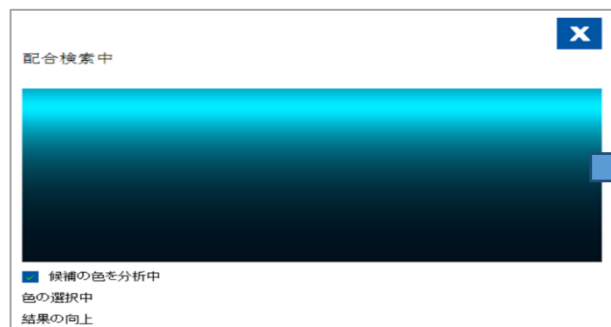
《表示条件》

- 「個別重量」より「修正済みの個別配合」の誤差が増加した時「+ (プラス)」  
減少した時「- (マイナス)」表示されます。
- 誤差を数値にて確認されたい場合は、「アドバンスビュー」を「OFF(グレー)」設定にします。  
(「+/-」or「数値」両表示不可能)



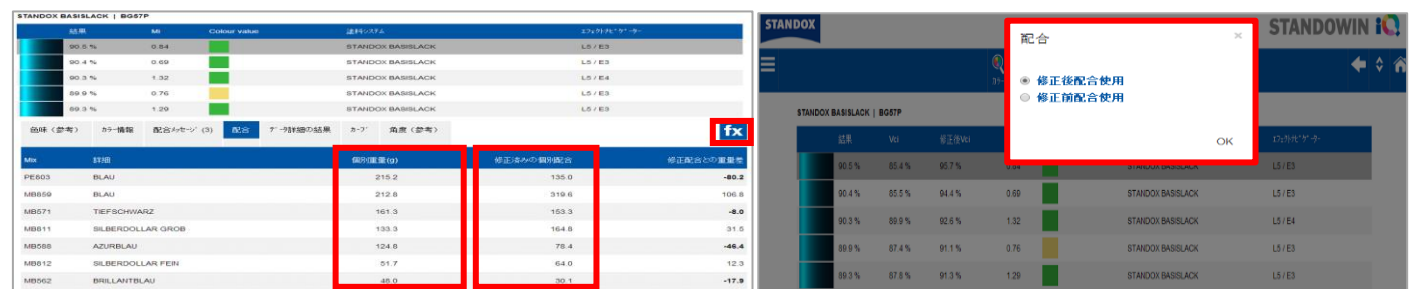
【カラー情報をトップに表示 ON】

- スペクトロ配合検索結果画面で「カラー情報」ページがトップに表示されます。※OFFにしても非表示になることはありません。



【修正前の配合選択許可 ON】

- 表示された結果のうち、「配合の画面へ」で配合画面を表示するときに修正前、修正後どちらのデータを表示するか選択できます。※OFFになっている時は修正後のデータが表示されます。



## 【マックスベスト値 ON】

- ・表示する検索結果のデータ数を変更できます。
- ※最大 10 個まで設定可能、初期設定は 5 個の表示になっています。

位置	VOL	修正後VOL	M	Color value	注1) 注2)	注3) 注4) 注5)
90.5%	85.4%	95.7%	0.94		STANDOX BASILACK	L5 / E3
90.4%	85.5%	94.4%	0.99		STANDOX BASILACK	L5 / E3
90.3%	89.9%	92.6%	1.32		STANDOX BASILACK	L5 / E4
89.9%	87.4%	91.1%	0.76		STANDOX BASILACK	L5 / E3
89.3%	87.6%	91.3%	1.29		STANDOX BASILACK	L5 / E3

Mu	計測	観測重量(g)	修正済み観測割合	修正割合との重量差
PE803	BLAU	215.2	135.0	-80.2
MB809	BLAU	212.6	319.6	106.6
MB871	TIEFSCHWARZ	161.3	153.3	-8.0
MB811	SILBERDOLLAR GROB	133.3	164.6	31.5
MB888	AZURBLAU	124.8	78.4	-46.4
MB812	SILBERDOLLAR FEIN	51.7	84.0	32.3
MB862	BRILLANTBLAU	48.0	30.1	-17.9

## 2. コミュニケーション &lt;DVD/ダウンロードソフト(カラーコントロールセンターCCC)とウェブの同期&gt;

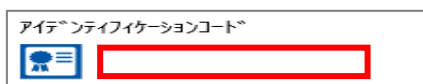
## 2.1. 登録

DVD/ダウンロードソフト(CCC)とウェブを同期させるにはウェブの「アイデンティフィケーションコード」を DVD/ダウンロードソフトにコピーし保存作業が必須です。

また登録には、カラーコントロールセンターを含む PC のインターネット接続が必須です。

登録は DVD/ダウンロードソフト(CCC)のソフトをインターネットのウェブと同期したい場合に必要です。

- ①お客様は最初にインターネットに登録が必要です。  
(詳細については「STANDOWIN iQ インターネット登録マニュアル」参照)
- ②ウェブにアクセスをし「☰」→「設定」→「私のアカウント」を開くと「アイデンティフィケーションコード」が表示されますので、コピーします。(15 ケタの英数字です)



DVD/ダウンロードソフトの「☰」→「設定」→「私のアカウント」→「登録」の画面の左上のボックスへコピーした 15 ケタの英数字を貼り付け、「登録」をクリックし保存します。(Ctrl キー+ V で貼り付けできます)

無事同期できましたら、「状態」が「インターネットとのリンクはしていません。」から「認証」に変わります。

- ・右上の緑の枠の「状態」が「認証」となっている場合は、インターネットと同期している状態です。
- ・「インターネットとのリンクはしていません。」となっている場合は、インターネットと同期していない状態です。
- ・「詳細」の「アドバンスビュー」をクリックすると、現在の同期の状況が確認できます。
- ・右側のボタンをそれぞれクリックすると、単体で同期をアップデートできます。
- ・一度にアップデートしたい場合は、右上の「アップデートのチェック」をクリックすると、一度にアップデートします。

Process	最終接続	最終接続トライ	次の接続トライ	状態
作業結果の進行	---	---	---	---
認証の検証	---	---	---	---
ハードウェアの環境設定	本日 14:27:47	本日 14:27:47	2020/04/10 08:51:56	OK
ソフトウェアのアップデート	本日 14:27:47	本日 14:27:47	2020/04/10 08:51:56	OK

ウェブの「アイデンティフィケーションコード」を一度登録すると、左上のボタンが、「登録のアップデート」になります。  
「登録のアップデート」→同期に不具合があった時に使用します。

## 2.2. ソフトウェアプロキシ設定

DVD/ダウンロードソフトの「≡」→「設定」→「ソフトウェア」→「環境設定/プロキシ設定」→「設定」  
インターネットにDVD/ダウンロードソフト(CCC)を接続できない場合は、プロキシサーバーのアドレスなどの登録が必要な場合があります。(お客様の会社の管理者様へご確認いただき必要事項の登録をお願いします。)

## 3. クラウドコネクタについて

Wi-Fi でアクワイヤークアンタム EFX 接続の場合「≡」→「設定」→「ハードウェア」→「Use cloud connector」を ON に設定する。  
\* ON 設定にすることにより http と https の間の「変換」を引き継ぐため、IP デバイスは引き続き、ソフトウェアに測色データを転送できます。

Wi-Fi でアクワイヤークアンタム EFX に接続しているお客様  
(Google Chrome 使用のお客様)\*Edge も同様と思われます。